

WEB TREND

2019 > > > 2020

「乗り遅れない！ウェブサイト制作のトレンド」

～時代遅れにならない、無駄な仕事を増やさないためのウェブ制作のトレンドとは～

**制作の流れに沿って
トレンドと注意点
をご説明**

1. 企画

2. デザイン

3. CMS

4. HTML・コーディング

5. 運用

1. 企画

中途半端なコンテンツより質の良い簡潔なコンテンツ

更新できないオウンドメディア形式のコンテンツの減少、オリジナルコンテンツを一定期間で更新する（チラシやパンフレットのような感覚）へ

SEOの観点から、Googleも明確によりコンテンツの質がSEOに大きく影響するとしている

POINT!

- 社内で更新するコンテンツは何処かを見極める
 - 現状でできること。新たに取り組むべきこと。できることと、やろうとすることのすり合わせ
 - 写真は撮れるのか、文章は書けるのか、どんな文体なら可能なのか、
- 重要視するコンテンツと検索されやすいコンテンツ。特殊なコンテンツは、そもそも検索されない。
- 更新頻度の少ないコンテンツは、HTMLの構造も重要視する→数年でHTML構造の見直しも検討
- 更新できないオウンドメディア形式のコンテンツより、オリジナルコンテンツを一定期間で追加する（チラシやパンフレットのような感覚）
- 更新型のコンテンツは、構造やデザインよりもスピードや頻度を重視
- コピーコンテンツはオリジナルとの差異を明確に

継続して、定期的に、質の良い情報を掲載する
コンテンツの量よりコンテンツの質とスピード

2. デザイン

2-1. モバイルファースト

対応しきれないので単純化されていく

ファーストビュー（画面サイズ）の多様化

参考：XDファイル & xd トモハウス

- ・ 端末の画面サイズと縦にスクロールしたときに、同時に見えている画面領域

<http://lovee7.blog.fc2.com/blog-entry-50.html>

画面の有効範囲と使い方

参考：iPone実機

- ・ 端末特有のナビゲーション領域や、画面外からのスワイプなど
- ・ タップしやすい場所
- ・ スマートフォン画面の大型化

ページングよりもスクロール

参考：XD

- ・ 小さいボタンは押せない

モーダルの多用(ポップアップよりもモーダルがおすすめ)

- ・ 新しいページに遷移すると戻ってこれない

- ・ ポップアップ => 下にある画面が触れる
- ・ モーダル => 画面全域に新しい画面を出す

2. デザイン

新しい表現スタイル

2-2. モバイルとPC

CSSを使って同じコンテンツを画面に合わせて配置する 参考: XD

- ・ 画面幅に合わせてコンテンツを配置するメディアクエリ
- ・ CSS を使ったレイアウト。従来のfloatから flex (フレキシブル/flexible) と grid

モバイルとPCのコンテンツの間を埋めるために 参考: WEB検索デザイントレンド

- ・ イラストの配置、背景写真に文字を乗せる
- ・ SVGによる動的な描画 参考: XD
- ・ タイポグラフィーを用いたフォントサイズによるデザイン

2. デザイン

2-3. その他 参考: XD

高さ100vh という単位を使って、表示領域の高さを意識したデザイン。
(ビューポート単位/Viewport Units)

ページ遷移ではなく、レイヤーを使ったデザイン。

2. デザイン

2-4. デザインとプログラムの融合

参考：[トモハウスnew](#)

javascript、scss、svgなどを使うことで色や画像、文字の大きさなどを動的に変更させることで、ダイナミックな動きを見せることができる。

2. デザイン

企画からプロトタイプまでの制作環境の変化

2-0. プロトタイプの作成からデザイン検証まで

紙ベースのツールからネイティブで電子デバイスを想定したツール

• AdobeXD



- ワイヤフレームから最終デザインまで一元管理
- 発注元、制作会社、デザイナー、ディレクター、ライター、写真家…etc. 携わるすべての人が確認できる
- 無料ライセンスから1ユーザー1,180円(月額)

3.CMS

過剰なサイト環境の減少

動的サイトから静的サイトの需要拡大

セキュリティと製作コスト、維持費のバランスから静的サイトの需要が高まっている。制作側のリテラシーが高まれば過剰な投資は減らせるが、まだまだ、制作会社主導で進む傾向にある。

3-1.WordPress

CMSの利用を前提に考えると、いまだWordPressが優位だが、標準の編集機能では、レスポンシブコンテンツの作成ができないため、新たなエディターを投入してきたが未だ不完全。HTMLの知識なしにコンテンツを追加・編集できるようになるにはブレイクスルーが必要。

UNDERSCORES <https://underscores.me/>

4.HTML・コーディング

4-0.動向

縦書きが可能に

12月10日にウェブの国際標準仕様に縦書きなどが追加

HTML,CSS,JavaScript・・・依然複雑な状況のまま

**HTMLでの決まり事が増え、CSSでできることが増え、
JavaScriptは様々なツールやコンポーネントが生まれ、
CSSフレームワークは乱立し、何をどう使えば良いものか・・・**

4.HTML・コーディング

4-1.実際の現場では

HTML構造化

技術的に少し落ち着いてきています。SEO的にも最低限の構造化は必要

CSSフレームワーク

Bootstrapだけではないより良いフレームワークが出てきているが、まだまだいろいろなものが出てくる可能性がある。サイトの拡張性を考えると、できるだけ単純なフレームワークが良いと思われれます。ただ、フレームワークを導入すると、サイトリニューアル時にHTMLの組み直しが必要になる場合があります。

Bulma <https://bulma.io>

Tailwind CSS <https://tailwindcss.com>

UIKit <https://getuikit.com>

CSS命名規則

命名規則に基づいたCSSはきれいですが、大規模サイトで、複数人数で管理メンテナンスするようなサイト以外は、必要ないかと思われれます

4.HTML・コーディング

4-2.コンプライアンスとクッキー

リクナビ問題：cookieとアクセスログを併用すると個人の特定までできる

cookieの使用の自粛

コンプライアンスの問題や、プライバシーの問題からcookieを規制する方向性に動いています。閲覧履歴などの情報収集は、googleのアナリティクスだけにとどめ、その際も、プライバシーポリシー等に、

「Googleアナリティクス」を使用している旨の記載が必要です。

5.保守管理

ステージングとバックアップ

クラウド技術などの発達に伴って、仮想環境の作成が容易になり、ステージング環境を提供するサーバー会社も出始めました。

ステージングの作業は、WEB上の管理画面から操作を行えます。

WAF WebApplicationFirewall

WordPressやJavaScriptなどのアプリケーションに対する脆弱性を狙った攻撃を検知して遮断するWAFの実用性が高くなり、設置も安易に利用できる様になっています。